

もしも蔦屋重三郎が歌麿、写楽、北斎…を招いて一杯呑んでいたら？

江戸レシピ&空想短編小説集『居酒屋 蔦重』11/29 発売

株式会社オレンジページ(東京都港区)は、江戸料理文化研究家・車 浮代さんの最新刊となる、『大河ドラマの世界を楽しむ！ 江戸レシピ&短編小説 居酒屋 蔦重』を11月29日(金)に刊行します。多くの絵師・戯作者を世に出した江戸のメディア王・蔦屋重三郎が、もしも居酒屋に彼らを招いたならどんなメニューでどんな会話を？ そんな“おいしい”空想の世界を楽しめる一冊です。



車 浮代『居酒屋 蔦重』

読んで、作って、食べて、呑む！ 大江戸エンターテインメント BOOK 誕生

～『居酒屋 蔦重』11人の客人～
喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、
曲亭馬琴、勝川春章、北尾重政、
朋誠堂喜三二、
山東京伝、
恋川春町、
十返舎一九、
大田南畝



江戸レシピと空想短編小説で、大河ドラマの世界に浸る

江戸のメディア王「蔦重(つたじゅう)」こと蔦屋重三郎。2025年NHK大河ドラマの主人公に決まり、今あらためて注目を集めています。本書は、「もしも蔦重が歌麿、写楽、北斎たちを居酒屋に招いて一杯呑んでいたら？」……そんな遊び心から生まれた、江戸レシピ&空想短編小説集です。著者は、江戸時代の料理の研究や再現、江戸文化に関する多数の著書や監修、メディア出演などで活躍する車 浮代さん。本書を通して、大河ドラマの世界がさらに味わい深いものになるはず。居酒屋に招かれる江戸文化を彩った11人の解説や、蔦重が生きた江戸時代の情報も満載です。※江戸時代の居酒屋とそのメニューを忠実に再現していません。現代でも手に入る食材で簡単に作れるレシピを紹介しています。

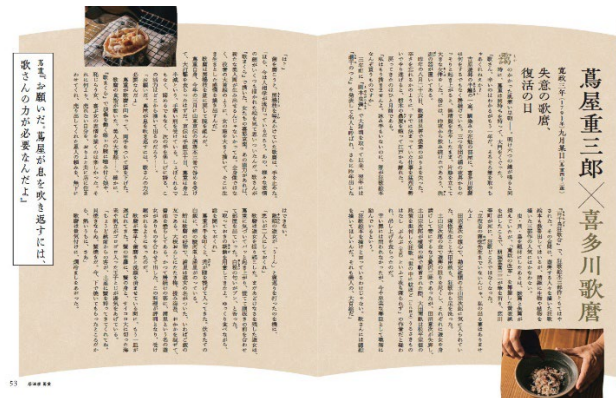
※短編小説は2025年NHK大河ドラマの内容と関係するものではありません。

紹介レシピの一例



左／東洲斎写楽を招いた日のメニュー。「鰯の鮮煮」「こんにやく白和え」「小竹葉豆腐」「奈良漬」「昆布酒」
 右／若き日のまだ貧しかった葛飾北斎を招いた日の一品。土産に用意した「ねぎ味噌にぎり」

小説の一例



葛屋重三郎×喜多川歌麿「失意の歌麿、復活の日」

■監修・文・料理:車 浮代(くるま うきよ)／江戸料理文化研究家

江戸時代の料理の研究、再現(1200種類以上)と、江戸文化に関する講演、NHK「チョコちゃんに叱られる!」「美の壺」「知恵泉」「歴史探偵」等のTV出演やラジオ出演多数。著書は『江戸っ子の食養生』(ワニブックス PLUS 新書)、『気散じ北斎』(実業之日本社)など30冊近く。小説『葛屋の教え』(飛鳥新社／双葉文庫)はベストセラーに。西武鉄道「52席の至福」、三重テラス「芭蕉月見の宴」等の料理監修も。近著に『葛屋重三郎と江戸文化を創った13人』(PHP文庫)。http://kurumaukiyo.com



車 浮代(江戸料理文化研究家)
『大河ドラマの世界を楽しむ! 江戸レシピ&短編小説 居酒屋 葛屋』
 2024年11月29日(金)刊行 定価1,430円(税込)
 AB版、アジロ綴じ、100ページ <https://www.orangeage.net/books/1867>

<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 16F 株式会社オレンジページ

総務部 広報担当:遠藤 press@orangeage.co.jp